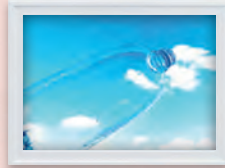


ユープの エシカル = Ethical =

それは誰かの笑顔につながるお買い物

2026



日本生活協同組合連合会 ブランド戦略本部
〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ
メールアドレス: goods.kouhou@jccu.coop



- 商品の取り扱いには会員生協ごとに異なります。
- 掲載内容は発行時点の情報となります。

2026年3月制作

「未来のためにCO・OP商品がめざすこと」

すべてのCO・OP商品をエシカル消費対応に

商品が原料から
つくられ利用される
すべての工程において、
持続可能性を追求し、
SDGsの実現に
貢献します。



CO・OP商品のエシカル消費対応の歴史

生協の歴史の中で多くの組合員がくらしや社会をより良くするため、さまざまな活動に取り組んできました。食の安全問題・地域の農畜水産業への支援・環境問題への対応など、CO・OP商品や生協の事業・組合員活動を通じて社会的課題へ取り組み続ける生協は、エシカル消費との関係性が深いといえます。

1969

環境に配慮した
洗剤「セファター」発売



1990

ステイオンタブ飲料缶発売



昔のプルタブ缶 現在のステイオンタブ缶

2010

CO・OP
コアシンスマイルスクール
プロジェクトスタート



2017

インドネシア・
エヒ養殖業改善
プロジェクト



2019

ラベルレスペットボトル
「ラベルのない水
(あずみ野)2L」発売



これからもCO・OP商品は「持続可能な社会の実現」に向けて
エシカル消費を推進していきます。

持続可能な開発目標SDGsとは

2015年9月、国連において採択された目標です。「誰一人取り残さない社会の実現」や「持続可能な地球環境」をめざし、将来にわたってこの地球で人間らしく生活し続けるために必要な17の目標が掲げられています。



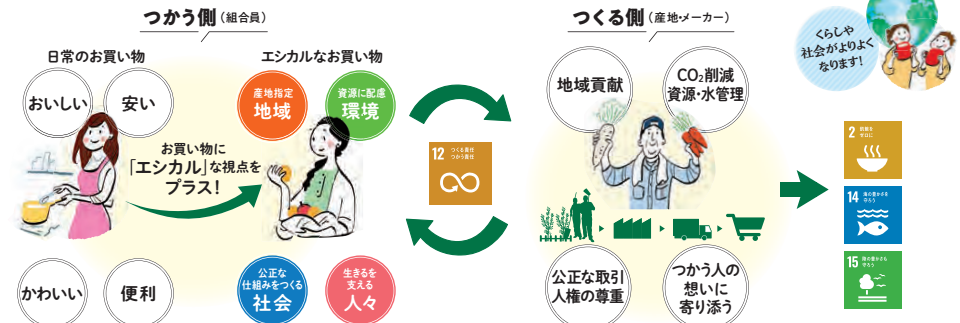
ふだんの買い物で変えられる未来

エシカル消費とは

エシカル消費とは、買い物をするときに自分視点だけでなく、環境や社会など他者への視点をプラスする消費のことです。生協ではこれを「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。



「エシカル消費」とは、「誰かの笑顔につながるお買い物」



もし、大多数の消費者が「エシカル」な価値を求めるようになったら…
提供する側も、「エシカル」な商品やサービスに変わっていきます。

エシカル消費はSDGsの17の目標を実現するための重要な手段の一つなのです。

CO・OP商品のめざす未来

2021年日本生協連は、持続可能な社会の実現に向けて全国の生協で推進する「生協の2030環境・サステナビリティ政策」の策定に合わせて、「コブ商品の2030年目標」を設定しました。これは、CO・OP商品の開発・卸を担う日本生協連が、2030年に向けた各原料資材等(農産、水産、紙・パルプ、パーム油、容器包材プラスチック、食品ロス削減)の持続可能な調達目標について定めたものです。



(詳しくはこちら)

CO・OP商品は以下の取り組みを積極的に推進します

日本の
農畜水産業応援

産地と「つながる」「守る」「確保する」「販売する」ことで地域を元気にする取り組み



食品ロス削減に
貢献する商品

規格外となった原料を使用するなど、食品ロスの削減に貢献する商品を積極的に開発

もったいない生活かす

包装資材の
環境配慮

包装資材(パッケージ)においてプラスチック使用による環境負荷を軽減するためのさまざまな取り組みや、紙パッケージにおける再生紙・認証紙への切り替えなど



環境・社会に
配慮した商品

地球環境や限りある資源の保全とともに、生産者の人権に配慮し公平な社会をめざした商品を積極的に開発



寄付金付き
商品

日本国内の問題やSDGsの課題解決の最前線で活動する国際機関やNGOなどを、対象商品を購入することで支援



環境・社会に配慮した商品

おいしい、うれしいが「未来につながる」

コープサステナブル

サステナブルな農林水産物や、主原料がサステナブルな商品をもっとわかりやすくするために、共通のロゴマークをつけシリーズ化しました。



「未来につながる」生産、資源活用へ



「コープサステナブル」とは

サステナブルな原料を使用した商品には多様な認証マークがつけられていますが、CO・OP商品はそういった「サステナブルな農林水産物^{※1}及び主原料^{※2}がサステナブルな商品」に共通のロゴマークをつけることで、組合員が売り場で見つけて選びやすいようにしました。未来につながる生産や資源活用の取り組みを、組合員の力で応援できることを目的としたシリーズです。

※1 サステナブルな農林水産物…日本生協連「環境や社会に配慮した商品の運用基準」に定める外部基準の認証、またはフェアトレード認証を受けた農林水産物とします。
 ※2 主原料…製品中で配合順3位以内かつ配合率5%以上を占め、当該商品の主要な構成材料となるものを指します。

主なエシカル消費対応商品

コープサステナブル商品



このロゴマークが目印！
サステナブルな
原材料を主原料に使用

取り組みの進展とともに認証マークもいろいろ…そこで、統一のロゴマークをつけました！

【認証マークの一例】



ra.org/ja

3-0098-17-100-00

※現時点では、産地指定・国産素材・産直など生協独自のマークは含まれません。

食品ロス削減に貢献する商品

産地指定・国産素材

寄付金付き商品

パッケージや副原料
に限って
環境配慮した商品
(エコマーク付き商品)



http://goods.jcoo.coop/ecomark.pdf

【コープサステナブル4つのテーマと商品の一例】

海の資源を守る



海の資源を守る



MSC認証



魚食の未来のために
msc.org/jp

ASC認証



BAP認証



MEL認証



主原料となる水産物はすべて、持続可能であると認証された漁業または養殖業で生産されています。



CO-OP

骨取り赤魚の煮付け(しょうゆ)

森の資源を守る



森の資源を守る



CO-OP コーヒーバッグ
オリジナルブレンド

レインフォレスト・アライアンス認証



ra.org/ja

主原料は森林の適切な管理に配慮してつくられた農林産物や再生紙を使用しています。

FSC®認証



RSPO認証



エコマーク商品



http://goods.jcoo.coop/ecomark.pdf

未来につながる資源の循環を



リサイクル材使用



再生原料使用
水切りゴミ袋
排水口用

エコマーク商品



http://goods.jcoo.coop/ecomark.pdf

製品本体で認証を取得し、かつ環境配慮や省資源につながる使い方を提案しています。

大地の力を活かす



Organic

主原料は農業や化学肥料に頼らずに、環境負荷の少ない農法で栽培されています。

有機JASマーク



有機栽培ダージリン
ティーバッグ



農と食の未来に



環境への配慮だけでなく、安全面や人権面など持続可能な農業や原料管理に取り組んでいる原料を使用している商品につけられます。

2026年から、環境や社会、食の安全に配慮した農業の証(GAP)である「農と食の未来に」が加わります。



GAP認証を受けた農場で生産した小松菜や茶葉を使った商品が登場します。



登録番号130009

※GAP…Good(適正な/良い)・Agricultural(農業の)・Practices(実践/やり方)の頭文字をとったもので、「適正農業規範」や「農業生産工程管理」と呼ばれています。

※JGAP…Japan Good Agricultural Practices(日本の良い農業の取り組み)の略です。



コープサステナブルは2026年に5周年をむかえました

コープサステナブルは、2021年2月に「海・森・大地(オーガニック)」の3つのテーマでスタートしました。発売初年度は127品/149億円規模からスタートし、2024年度末には277品/302億円と大きく成長を遂げています。2026年には環境・人権・社会などにも配慮したGAPの取り組み「農と食の未来に」が加わり、ますます拡大していきます。

ロゴマークにはこんな想いが!

デザイン下部の曲線は「地球」を、「テ」は「未来に向かう人」を、そしてカタカナの横線の連なりが「サステナブルを推進する「つながる力」を表現しています。



「コープサステナブル」に込めた想い

豊かな地球を次の世代にバトンタッチすること。それは「今」を生きる私たちの使命だと思います。商品開発やふだんの買い物を通して、持続可能な地球環境や社会づくりに貢献したい。そんな想いを込めて、生産者のみなさんと一緒につくったのが「コープサステナブル」です。世界中に笑顔を広げるために、今後も「コープサステナブル」の開発を積極的に進めてまいります。



日本生協連
サステナビリティ
戦略室 室長

コープサステナブル



海の資源を守る

未来につながる魚を選ぼう

海の恵みは私たちの毎日の食卓に欠かせません。その海の恵みを、未来の子どもたちまでつなげていくためにCO-OP商品の取り組みを紹介します。



「海の資源を守る」とは



生産者

- ・決められた時期に決められた量を守って漁獲
- ・環境に配慮した漁法や、漁網などに工夫
- ・対象でない魚種の混獲をできるだけ防ぐ



メーカー・生協

- ・魚を知り尽くしたメーカーの熟練の技で組合員に喜ばれる商品づくり
- ・手軽においしく食べられるようにさまざまな工夫を発信



組合員

- ・選んで買っておいしく利用
- ・商品がどこからきたか生産者の顔を思い浮かべる



【海の恵みを未来に残す】

CO-OP無着色ひとくち辛子明太子・たらこの原料はアラスカ産スケトウダラの卵。アラスカでは「それぞれの魚の資源量を維持できるよう乱獲しないこと」と「魚だけでなくそれを取り巻く生態系全体を守ることは「責任ある漁業」として約束され、厳しく管理されています。



無着色ひとくち辛子明太子(切り)



無着色ひとくちたらこ(切り)



魚食の未来のために msc.org/jp

MSC 「海のエコラベル」

海洋への影響を最小限に抑え、将来のために水産資源を保護する、適切に管理された漁業で獲られた水産物につけられるラベルです。

生産者 — 決められたさまざまなルールを守り、生態系と環境に配慮した漁をします。



船ごとに獲ってよい魚の量は決められています。また獲ってよい魚種も定められており、守らないと厳しいペナルティが課されます。



スケトウダラを漁獲する際には、上部からレーザーが出る網を使用します。これはサーモンの走光性(光源に対して一定に運動すること)を利用して、一旦網に入ってしまったら自ら網から出ていくように仕向け、混獲を防ぐためです。

メーカー・生協 — 持続可能性に配慮した原料をおいしくいただけるよう心を込めて加工しています。

サステナブルな原料をおいしくいただくための商品づくりへのこだわりも「コープサステナブル」ならではの。「CO・OP無着色ひとくち辛子明太子・たらこ」は、メーカー社長自らアラスカまで出向き、漁にも同行。乗組員との密なコミュニケーションが良質な原料の確保につながるそうです。



鮮度にこだわり、船上凍結した原料を輸入



明太子の本場・福岡の工場で、経験豊かな熟練スタッフがほぼ手作業で選別やカットを行っています。

組合員 — 選んでおいしく食べるのももちろん、商品がどのように自分たちの食卓に届くのか知ること、大切な取り組みです。



工場・産地交流会などの学習会で、どのような漁で原料が獲られるか、メーカーと組合員でコミュニケーションが取れるのも、生協ならではの取り組みです。

その他の商品一例



CO-OP 骨取り赤魚の煮付け(しょうゆ)



CO-OP フィッシュソーセージ



CO-OP レンジでお星さまの白身魚のフライ

【日本の水産業と魚食文化の発展のために】

組合員から長く愛される「CO・OPふっくらしらす干し」は2022年3月「コープサステナブル」に仲間入り。原料のしらすを漁獲する大阪湾の「しらす船びき網漁業」は、2020年にMEL漁業認証を取得しました。



大阪湾などで元気に育ったしらすを、水揚げ→輸送→炊き上げ→乾燥→選別→袋詰め→冷凍まで、すべてひとつの工場で一貫生産しています。



MEL認証

MEL認証は、水産資源の持続性と環境に配慮している日本の事業者(漁業・養殖業)を認証する制度です。



CO-OP ふっくらしらす干し

コープサステナブル



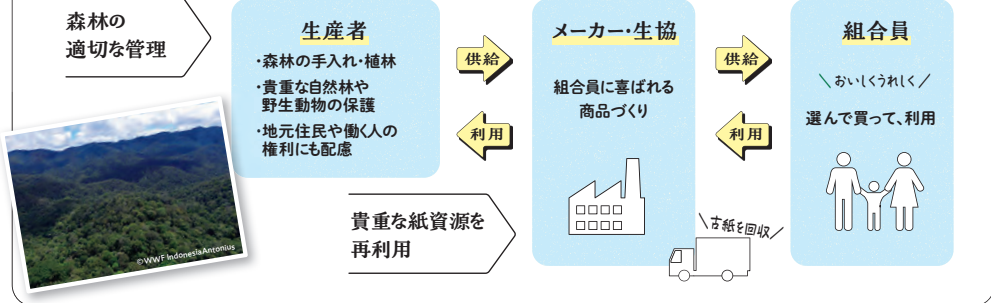
森の資源を守る

森は、木材や食べもの、水や空気など、命を支えるさまざまな恵みを与えてくれる存在です。森を守り続けるためにできること、考えてみませんか？

未来につながる森の循環をめざして



「森の資源を守る」とは



「いつまでもおいしいコーヒーが飲み続けられるように」



CO-OPコーヒーバッグは、12種類*がレインフォレスト・アライアンス認証コーヒー豆を使用しています。環境保護、労働者の人権や生活向上など、より持続可能な農業のための基準を遵守する農園からの原料を、90%以上使用した製品に認証マークの使用許可が与えられます。*2026年1月現在



レインフォレスト・アライアンス 人と自然にとって、より良い未来を推進する方法で栽培されたことを意味するマークです。詳しくはra.org/jaをご覧ください。

個包装パッケージにも認証マークを記載

CO-OP商品では2016年に発売された「スペシャルブレンド」コーヒーを皮切りに、コーヒーや紅茶、チョコレートなどさまざまな認証マーク付き商品を増やしてきています。取り組みについてもっと多くの組合員に知ってもらうために、2025年春からはコーヒーバッグの個包装パッケージにも認証マークとプログラムの説明を記載しました。



CO-OP コーヒーバッグ キリマンジャロブレンド



CO-OP コーヒーバッグ オリジナルブレンド

近年生産国における干ばつや洪水などの発生でコーヒーの収穫量が減少しています。また世界的に需要が高まっていることもあり、原料価格は急騰しており、価格と品質の両立は困難な状況となっています。おいしいコーヒーをこれからも飲み続けられるようにレインフォレスト・アライアンス認証について知ってもらい、取り組みに共感し、コーヒーを選ぶ際の選択肢にしてもらえたいと思います。



葉子飲料部 担当

【貴重な紙資源を再利用】

FSCリサイクル紙

FSC認証では、古紙を再利用して紙を製造することについても新しく木を伐採する必要がないため、間接的に森林保護につながると考えており、回収原材料を100%使用したりリサイクルペーパーについても、適正な管理の下、FSCリサイクルラベルをつけることが可能です。



飲料パックなどの無漂白原料をリサイクルしています。



FSC

森林の環境や地域社会に配慮して作られた製品であることを示すマークです。



CO-OP 未晒し原料を再利用したトイレットペーパー

ゴミになる芯をなくし、無駄を省きました。

ミックスラベルもあります



CO-OP ティッシュ

この製品は、適切に管理されたFSC認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

【持続可能なパーム油の生産を応援】



パーム油は熱帯で育つアブラヤシという植物からとれる油で、日本で使われている植物油の1/4を占めるといわれています。マーガリンや即席麺、チョコレートなどの食品や石けん、洗剤、化粧品など幅広く利用されているパーム油の持続可能な生産を応援します。

パーム油の原料であるアブラヤシの生産をめぐる、さまざまな問題があります。

自然破壊・生態系の劣化 農園開発のための熱帯林伐採や焼失 野生動物や生物多様性への影響

環境汚染 土壌・水・大気汚染

労働問題 農園での劣悪な労働環境や人権侵害

土地紛争 先住民族地域住民への影響・負荷



3-0098-17-100-00

RSPO

CO-OP商品では、パーム油原料のアブラヤシ産地で生じているさまざまな問題の解決をめざすRSPO認証を受けたパーム油の使用を積極的に進めています。

パーム油とは



即席麺やパン、ポテトチップスなどの食品、石けん、洗剤、化粧品など、幅広く使われています。



RSPO認証 パーム油 (マスバランソイル®) 使用

CO-OP 海老いっかき揚げ 5種の国産野菜入り



CO-OP NEWソフト



CO-OP &MANTINGA バター入り ハーフバゲット



CO-OP コープヌードルしようゆ

*製造過程で、認証油と非認証油が混合される認証モデルです。物理的には非認証油も含んでいますが、購入した認証油の数量は保証されています。

「未来につながる」食材の活用を

食品ロス削減

選別工程で生鮮用の規格に沿わなかった原料を使用するなど、食品ロスの削減に貢献する商品開発をめざします。



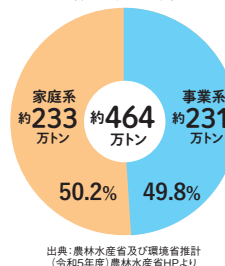
食品ロスとは

まだ食べられるのに食べ物が捨てられてしまうことを「食品ロス」といいます。CO・OP商品は、食品の廃棄を極力削減するために、取引先とともに余剰食品の有効活用など食品ロス削減のさまざまな施策に取り組みます。

日本の食品ロスの状況

日本で1年間に発生する食品ロスの量は約464万トンに上ります。その内約半分が家庭から出る食品ロス、残りの半分が食品製造や小売、外食産業などの事業から出るものとなっており、どちらの側面からも食品ロス削減に努めていく必要があります。

日本の食品ロス量
(令和5年度推計値)



食品ロスを減らすために、個人でできること

- ▶ 必要な分だけ買って、残さず使い切る
- ▶ 野菜の皮や茎を捨てずに活用する、残り物をリメイクなど料理の工夫
- ▶ 余った食品をフードバンクに寄付

家庭系食品ロス削減へ

- ▶ 賞味期限の近いものを買う
- ▶ 食品ロス削減に貢献する商品を選ぶ
- ▶ 中身に問題がなければ、見た目の悪い野菜、箱にキズのある食品なども買う
- ▶ 外食時は食べ切れる分を注文して残さない

事業系食品ロス削減へ

組合員に取り組み内容を伝え、一緒に食品ロス削減

食品ロスの問題は、多くの組合員にとっても関心の高いテーマです。「もったいないを活かす」マーク付き商品として位置付け、取り組みを伝えることで、組合員が食品ロス削減を身近に感じ、参加できる機会を提供します。

「もったいないを活かす」マーク付き商品の活用について、組合員から寄せられた声です。

「もったいないを活かす」マーク付き商品の活用について、組合員から寄せられた声です。

組合員の声

自分の家でもったいないでなく、生産過程のなかでもったいないは違ふことを思いました。捨てられていた物を加工することによって、新しい食品になる、すばらしいと思います。

「もったいないを活かす」に込めた想い

「食品ロス削減」の設計ありきではなく、何よりも「商品としてのおいしさ」を追求しました。頭でっかちにならず、おいしく楽しく、食品ロス削減の取り組みを長く継続できればと考えています。規格外農産物や製品製造工程での副産物の廃棄を減らし原料として活用するには選別や加工のためのコストがかかり、取引先による設備投資をとまなうケースも多くあります。そのような中で、利用しやすい価格とのバランスに留意して商品開発を進めています。



菓子飲料部 部長

もったいないを活かす
豆乳を絞った後のおからを使用

CO-OP おからが入ったきなこビスケット

豆乳を絞った後に残るおからを無駄なく使用しています。

食品ロス削減に貢献する商品であることを組合員にわかりやすく伝えます

【そのままでは廃棄されてしまう原料を活用】

もったいないを活かす

農業・水産業や食品製造業では、大きさや形が規格に合わず、加工・流通ができない原料、カットしたときに出る端材などが発生します。これらの一部は、別の食品、動物の飼料、肥料、燃料などに再生利用されています。「もったいないを活かす」マーク付き商品は、そういった再生利用先がなく、廃棄するしかない原料を活かす取り組みです。



CO-OP 国産小麦とおからのドーナツ(Ca)

CO・OPざくざくブロックチョコレート

CO・OP九州の芋けんぴなどを製造するときに出る「かけらの芋けんぴ」を無駄なく使用しています。



ざくざくブロックチョコレート
(芋けんぴ入り)

「CO・OP九州の芋けんぴ」を製造するメーカーを訪問した際、かけらの芋けんぴがもったいないので何かに使えないか？と考えたのが開発のきっかけです。試行錯誤を繰り返した結果、かけらの芋けんぴをチョコレートで固めることで製品化に成功しました。ミルク・ホワイト・ビター等、複数のチョコレートで試作してチョコレートを選別し、くちどけがよく、芋けんぴとの相性のよい商品に仕上げることができました。



菓子飲料部 担当

例えば バナナを原料とした商品の場合

原料のバナナの選別工程で生鮮用の規格に沿わなかったバナナを使用し、食品ロスの削減に貢献します。



その他の商品の一例



グリーンスムージー
(1食分の野菜)



和歌山県産 南高梅使用 梅酒の梅のドライフルーツ



凍らせて食べる シャーベットゼリー (りんご味・レモン味)

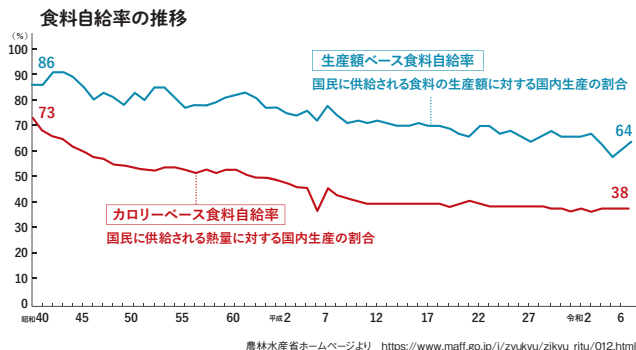
生産者と消費者がつながる

産地指定・国産素材

CO・OP商品では日本の農畜水産業を持続可能なものにするために、生産者と組合員の交流を深めながら、生産者の支援と食料自給の向上に貢献する仕組みづくりをめざしています。

日本の食料自給率

日本の食料自給率は、長期的に減少傾向で推移しており、先進国中最低水準となっています。食料自給率は、食料の国内消費に対する国内生産の割合を示したものです。国全体で見たときに消費した食料に対して国産がどれくらいかを表す数字です。



日本の農畜水産業をとりまく現状



地球温暖化の影響による猛暑や豪雨、海水温の上昇等による生産量や品質の不安定化



肥料や飼料・燃料費の高騰が引き起こす生産コストの上昇による経営の圧迫



生産者の高齢化、後継者不足による農畜水産業従事者の減少

CO・OP商品では国産原料の産地連携強化と使用量拡大など、商品開発を通じて生産者の支援と食料自給の向上に貢献する仕組みづくりをめざします。

CO・OP商品の取り組み

これらの課題を受けてCO・OP商品では日本の農畜水産業が未来に続くよう応援するために、国産原料を使用した商品開発を積極的に進めています。

産地指定 国産素材

CO-OP

特別栽培宮崎のカットほうれん草



CO-OP

信州産ストレートトマトジュース 食塩無添加



国内地域

産地指定

利用・交流・コミュニケーションを通して、産地と信頼関係をつくります。



産地指定

主要な原材料に産地や栽培方法が明らかな国産素材を使用した商品にマークをつけています。



産地(生産者または生産者団体)指定で栽培方法が明らか



産地の訪問点検により、品質・安全性の確認ができる



産地とのコミュニケーションが取れる

コミュニケーションから生まれる産地とのつながり

CO・OP北海道のそのまま枝豆

産地での厳格な栽培管理と生産管理、そして生協での長年の供給実績という信頼とつながりで「CO・OP北海道のそのまま枝豆」は組合員の元に届けられます。

生産者(枝豆農家)

期間を定めて違った種類の作物を植える「輪作」で連作障害を防ぎ、肥料・農薬は指定されたものを用いるなど、組合との約束事を守った栽培方法で生産します。



製造工場

鮮度が命の枝豆を、収穫してから約3~4時間以内に急速冷凍加工することで、枝豆本来のおいしさを生かした商品としてお届けしています。



日本生協連商品担当

収穫シーズンになると産地を訪れ、直接生産者と顔を合わせて生育状況を聞くなど、コミュニケーションを取ることで信頼関係を築いています。



生産者に聞きました!

●枝豆は肥料の量が重要で、あげすぎると背が高くなりすぎて倒れるなど、収穫に影響が出てしまいます。小麦やじゃがいもなどほかの生産物との輪作で生産することが多いのですが、前の年に何を育てていたかによっても影響が出るため、農家の経験値次第という部分が多いです。

●機械で収穫する枝豆は、倒れてしまうと折れたり抜けたりして枝ごと収穫されてしまいます。そうすると加工場で枝がうまく分離できず、豆が無駄になってしまうことが多いので、気を付けています。

北海道の広大な大地と寒暖差から生まれた枝豆は、甘味が強くとてもおいしいです。みなさんぜひ食べてください!

組合員にメッセージ

芽室町枝豆生産組合 棚瀬潤一さん



CO-OP

北海道のそのまま枝豆



その他の商品の一例
CO-OP 三陸産 茎わかめ



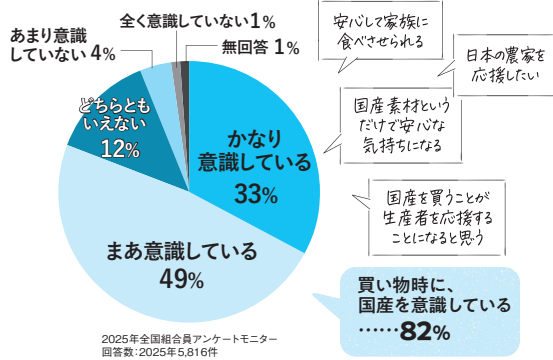
CO-OP 日本の莓ジャム (長崎県産莓使用)



CO-OP

北海道のつぶコーン

質問「買い物時に国産を意識していますか？」



安ばて家族に食べさせられる
日本の農家を応援したい
国産素材というだけな安心な気持ちになる
国産を買うことが生産者を応援することになると思う

買い物時に、国産を意識している……82%

国産素材

「買い物の時に国産を意識している」という声が組合員から数多く寄せられています。CO・OP商品ではそういった声に応えるため、国産原料を使用した商品にわかりやすいマークをつけました。「国産原料を使った商品の利用が広がることで日本の農畜水産業を応援したい」。そんな想いが「国産素材」マークには込められています。

CO・OP牛乳70%アイスバー

ミルク本来の風味を活かした素朴な味わいが魅力です。

「CO・OP牛乳70%アイスバー」は、生乳を70%配合し、乳化剤・安定剤・香料を使っていません。このアイスバーを製造しているのは、鳥取県の大山乳業農業協同組合です。鳥取県は夏は暑く冬は寒い、牛の飼育には厳しい環境ですが、大山乳業の牛乳は品質の高さで定評があります。豊かな自然環境の中で栄養豊富な牧草を食べ、健康管理に留意し衛生的な環境で飼育された牛から搾乳された生乳を使用しているからです。大山乳業農業協同組合は鳥取県の酪農家で組織した専門農協です。生乳の管理や独自の認証制度を徹底し、良質な生乳を無駄なく活用しています。「CO・OP牛乳70%アイスバー」は、シンプルな原材料にこだわり、素材本来の味わいを大切に商品です。



牛乳70%アイスバー

大山乳業の「一貫体制」



生産者に聞きました!

おいしい生乳をつくるために、牛にストレスを与えないよう搾乳や餌やりなどが同じ時間になるように心がけています。最近の酪農情勢は飼料の高騰など厳しい状況が続いていますが、工夫しながら頑張っています。



大山乳業農業協同組合 西谷牧場 西谷拓哉さん

CO・OP国産大豆の無調整豆乳(フクユタカ)

国産大豆「フクユタカ」から搾った豆乳です。

市販の豆乳には外国産大豆を使用したものも多くありますが、CO・OP商品では豆腐の素材としても使われる良質な国産大豆を選びました。大豆本来の自然なおいしさを生かした豆乳を提供しています。



国産大豆の無調整豆乳(フクユタカ)



その他の商品の一例



CO・OP 麦茶 (国産六条大麦使用)



CO・OP おいもがおいしい厚切りポテトチップス あっさりしお味

フェア(公正)な価格で生産者を守る

国際フェアトレード

公正な取引で途上国のくらしを支援します。

フェアトレードとは

開発途上国の農産物や製品などを不当に安く買うのではなく、農家の生活が成り立つように考慮した「フェア(公正)な価格」で継続的に輸入し、生産者の生活を支える取り組みです。



途上国の生産者について

途上国の生産者の多くは情報や技術が少ないため、弱い立場におかれています。そのため苦しい生活からなかなか抜け出せません。

「最低価格」で生産者を守る

最低価格とは、市場価格が下がっても、生産者からの仕入れの際に保証している基準の取引価格をいいます。生産コストをまかない、経済的・社会的・環境的に持続可能な生産と生活を支えます。



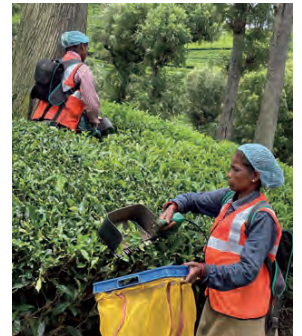
CO・OP 商品一例
コーヒーバッグ 有機栽培 フェアトレードコーヒー (グアテマラブレンド)

CO・OP フェアトレード& レインフォレスト・アライアンス認証農園限定 アールグレイ紅茶 三角ティーバッグ

水に次いで世界で二番目に消費されている飲料はお茶です。毎日50億杯ものお茶が世界で飲まれており、茶栽培は世界35カ国以上で行われています。年間生産量450万トンのうち、75%近くを中国、インド、スリランカ、ケニアの4カ国が占めていますが、茶摘み労働者は、劣悪な環境で長時間労働を強いられ、その賃金は驚くほど低い現状があります。フェアトレードは最低価格とフェアトレードプレミアムで農家を支援し、生活資金基準を設定。ジェンダー平等推進や、持続可能で気候変動に強い茶生産に関するトレーニング・支援を提供しています。



ニルギリの農園(Sutton農園)



茶畑での収穫の様子

フェアトレードプレミアムとは

輸入者により商品の代金とは別に原料代に上乗せで支払われる割増金(プレミアム)は、組合や地域の発展・開発のために使われる資金です。その用途は、生産者組合が民主的に決定します。生産設備の改善だけでなく、地域に病院や学校を設立したり、パソコンや教材を提供するなどの使いがされています。



農園内にある学校。学校の設備の一部にフェアトレードプレミアムが活用されています。



CO・OP フェアトレード& レインフォレスト・アライアンス 認証農園限定アールグレイ紅茶 三角ティーバッグ



25g

便利の「先」と使った「後」を考えよう

プラスチックの環境対応

私たちの暮らしと社会、経済に深く浸透した便利な素材、プラスチック。便利のその先を見据え、プラスチックとどう向き合うか、CO-OP商品ではプラスチック容器重量の削減や再生プラスチック・植物由来プラスチックへの切り替えなど、できることから取り組みを進めています。

プラスチックと環境問題

プラスチックゴミが流出すると… 海洋生物や生態系への影響

焼却すると… 地球温暖化への影響

石油から作り続けると… 原料の化石燃料は、使い続けると枯渇してしまう

プラスチック包材は食品の保存性を高めるなどの大きな利便性があります。

燃やせばCO₂の増加に、捨れば海洋プラスチックごみの原因に。

私たちが環境に配慮した利用(リユース・リサイクルなど)をすることにより、限りある天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らすことが大切です。



プラスチックの環境負荷を軽減する4つの方法

リデュース
使用量削減

包材を「小さく」「袋内のトレイをなくす」「小さくする」「薄くする」

ふっくら卵のオムライス

リユース
繰り返し使用

洗剤・ハンドソープなど、詰替用規格の配置

セフターENERGY(エナジー)抗菌・防臭(濃縮コンパクト)詰替用

リサイクル
再資源化・再生

回収ペットボトルなど、再生資源を原料とする包材の利用を推進

ビーフカレー中辛

バイオマス
植物由来素材利用

植物由来プラスチックの利用を推進

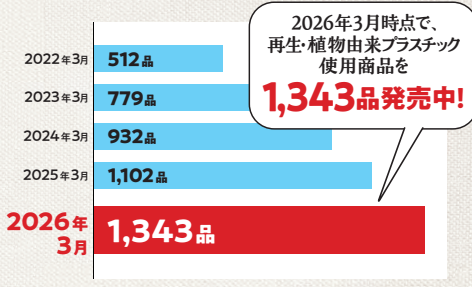
リッチブレンドレギュラーコーヒー



進捗はこちらで公開しています

https://goods.jcu.coop/report-plastic/

包装(パッケージ)にプラスチックを使用したCO-OP商品は現在約4,200品あります。そのプラスチックを「再生プラスチック」「植物由来プラスチック」に変更した商品点数は年々拡大中です。



生協で回収したペットボトルを

包材の再生プラスチックの一部に使用しています。

生協で回収したペットボトルをCO-OP商品の軟包材へとリサイクルしていく取り組みを全面的に拡大しています。2023年3月よりレトルトビーフカレーへ広げ、その後ペットボトルから再生したフィルムを使用している包材全体へと拡大しています。

商品の一例



CO-OP

骨取りさばの味噌煮



CO-OP

大豆ドライパック



CO-OP

流せるトイレクリーナー

このフィルムが使用されるCO-OP商品の軟包材については、「生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています」との表示を入れています。



生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています。

生協で回収したペットボトル再生利用のながれ



おしえて再生利用

- Q** なぜプラスチックの容器包装の中で、ペットボトルだけ分けて回収されているの?
- A** 一般的にプラスチック製の容器包装はさまざまな特徴を持つ性質の違うプラスチックでできているものが多くあります。プラスチックに限らずリサイクルの基本原則はなるべく同じ素材のものを集めること。その点ペットボトルは単一の素材で作られており、ペットボトルのみで回収することで、再生して資源として活用しやすくなっています。ペットボトルが全て無色透明で作られているのも、よりリサイクルをしやすくするためです。
- Q** リサイクル品は生協の回収に出すのと、自治体の回収に出すのと、どちらが良いのですか?
- A** 生協の回収に出した場合、自治体の資源ごみ回収に出した場合、いずれも資源として有効活用されます。ただし分別の仕方によって活用のされ方が異なります。色々な種類のプラスチックを混ぜて回収に出すより、食品トレイ・卵パック・ペットボトルなど素材別により細かく分別して回収に出す方が、次にまた別のプラスチック製品に生まれ変わる可能性が高くなります。生協で回収しているものは、可能なら生協に出していきたいと思っています。ご利用の生協や自治体の回収対象をご確認ください。
- ペットボトルリサイクルのために…**
- ✓ 中身を空にしよう
 - ✓ 可能な場合は軽くすこう
 - ✓ キャップ、ラベルをはがそう
 - ✓ つぶす、つぶさないは自治体など回収場所の指示に従おう

包装資材の環境配慮

「つくる」から「すてる」まで商品の一生を考える

エコマーク

環境への負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品につけられるマークです。

再生を待つ回収ペットボトル
協カ・東カペットボトルリサイクル(株)

エコマーク商品



http://goods.jccu.coop/
ecomark.pdf



包装資材の環境配慮

外箱やパッケージも環境配慮に

FSC

紙製品だけでなく、パッケージ・段ボールも責任ある森林資源の使用をめざします。

画像協力・日本テトラパック(株)



責任ある森林管理のマーク

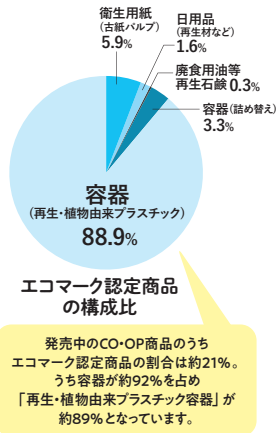
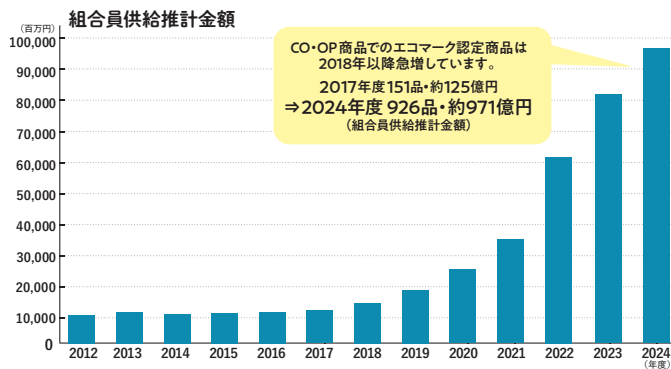


エコマークとは

エコマークは、公益財団法人日本環境協会が国際的な規格に基づいて運営し、さまざまな商品(製品およびサービス)の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。

CO-OP商品とエコマーク

1989年3月に日本初のエコマーク認定商品が登場。CO-OP商品はその翌年1990年よりエコマーク認定商品の開発を開始しました。以来、古紙使用、再生材料使用、詰め替え容器対応など商品の種類・点数を増やしてきました。近年では特にプラスチック問題を解決すべく、再生プラスチック・植物由来プラスチック容器が大幅に増えています。



FSCとは

FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会)は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする独立した非営利団体で、国際的な森林認証制度を運営しています。FSC認証は、適切に管理された木材と責任ある調達をされた製品を確実に消費者に届けることで、森林資源の保全を消費者が支える仕組みです。



FSC認証商品の拡大

2012年紙製品からスタートし、紙パック、そして段ボールや紙容器など対象をパッケージまで広げ認証商品を大きく拡大しています。FSC認証段ボールは、商品数で約1,500品以上、使用枚数ベースで60%程度になっています。



※パッケージは当時のデザインです。

TOPICS

組合員の声にこたえて詰め替えも配置、本体・詰め替えともに植物由来プラスチックを包材の一部に使用してエコマーク認定

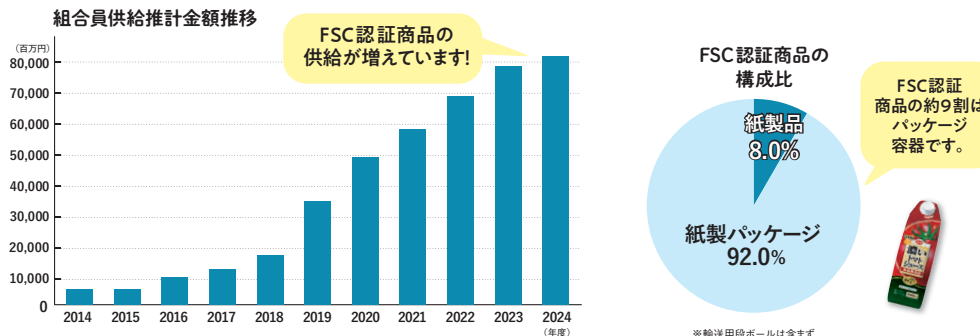
コープ基礎は2025年に化粧水3種と乳液に詰め替えパウチを新たに開発することで、年間約12トンのプラスチック使用量削減を見込んでいます。これは、本体容器に比べて詰め替えパウチのプラスチック使用量が約8割削減できることによる効果です。*

さらに、本体ボトルには30%、詰め替えパウチには51%の植物由来プラスチックを使用することで、石油由来プラスチック使用量の低減に貢献しています。いずれも環境保全に役立つと認められたエコマーク認定容器となっています。



CO-OP商品のFSC認証商品は、商品からパッケージ・段ボールまで幅を広げ急増しています。

2013年度 4品・約21億円 ⇒ 2024年度 514品・約824億円



ふだんのお買い物でできる身近なエシカル消費 寄付金付き商品



あなたのお買い物が誰かの笑顔につながります。



【海外・環境】 「コープの洗剤環境寄付キャンペーン」

インドネシアの小規模バーム農園の持続可能な生産を推進するプロジェクトを支援します。

日本生協連は、2018年からWWFジャパンを通じ、インドネシア西カリマンタン州の小規模バーム農家などが適切な農園管理方法を学び、生産性を高める活動を支援してきました。2022年度からは従来の小規模農家支援に加

え、より広範囲で多くの農家がサステナブルな農業を営むようになることで熱帯林破壊が抑止できるよう、地方自治体への働きかけを強化し、この支援活動をインドネシアの他の地域へ広げていくことをめざしています。



対象商品の一例



セフター ENERGY(エナジー) 抗菌・防臭



独立小規模農家と森林破壊のメカニズム



支援を通してできる活動の例

- 1 保全すべき森を住民で守るトレーニング
- 2 農家の生計が向上する仕組みづくり
- 3 地方自治体の政策策定支援

【2026年度キャンペーン期間】
2026年5月21日～2027年5月20日(通年)
2024年度全国の生協での寄付金総額
271万8,203円

- 取り組み内容
- 1 対象商品をお買い求めください
- 2 1品につき0.5円をWWFジャパンに寄付
- 3 持続可能なバーム油の生産などを支援する活動につながります

【海外・環境】 「スマイルグリーンプロジェクト」

ブラジルのアトランティックフォレストで実施されている、森林再生などの活動を支援するキャンペーンです。



2022年11月よりスタートした取り組みです。CO・OPティッシュ、芯なしトイレットペーパー(コアノンシリーズを除く)を1パックご購入いただくごとに1円がWWFジャパンを通じてブラジルに寄付され、WWFが推進するブラジルアトランティックフォレストの森林再生活動などを支援します。



【2025年度キャンペーン期間】
2025年11月1日～2026年10月31日(通年)
2024年度全国の生協での寄付金総額
894万8,348円

- 取り組み内容
- 1 CO・OPティッシュ、芯なしトイレットペーパー(コアノンシリーズを除く)いずれかお買い求めください
- 2 1パックにつき1円をWWFジャパンを通じてブラジルに寄付
- 3 森林を再生し、人と自然、動物たちが共存できる環境づくりに使われます

【インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクト】

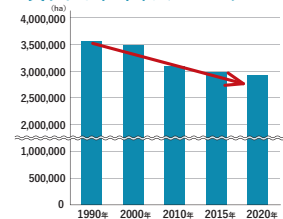
環境と社会に配慮したエビ養殖業への改善を進めています。



インドネシアのエビ(ブラックタイガー)養殖業が抱える問題

持続可能性の観点から、インドネシアのブラックタイガー養殖業では主に2つの大きな問題があります。

- 1. 失われるインドネシアのマングローブ
- 2. 養殖業者が直面する困難



- 養殖の生産性の低下
- 生産者の減少
- 生産者の高齢化



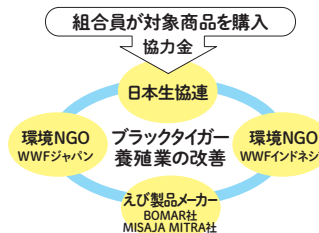
現地の様子を伝える動画はこちら!

減少要因のひとつがエビ養殖池をつくるための伐採

国連食糧農業機関 (FAO) [Global Forest Resources Assessment 2020 Report Indonesia]より作成

インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクトとは

インドネシアのエビ(ブラックタイガー)養殖が環境と社会に配慮しながら未来に続くように、「生態系・生物多様性の保全」、「持続可能な地域住民の生計確立と水産物の生産・消費」を目標に、日本生協連は現地のエビ加工会社、WWFインドネシア、WWFジャパンの4者が協働するプロジェクトを2018年7月にスタートしました。



プロジェクトのこれまでの成果

- ・中部ジャワ州で2024年3月にブラックタイガーのASC養殖場認証を取得。2025年9月までに21.9ha・生産者9名に拡大。
- ・南スラウェシ州と中部ジャワ州のマングローブ再生では、16.15haで根付き成長が確認できました。(2025年3月時点)



責任ある養殖により生産された水産物 ASC-AQUA.ORG



プロジェクトの活動紹介

適切な養殖池の管理や、生産者への持続可能なエビ養殖に関する研修



生態系の回復・保全をめざしたマングローブ再生

ブラックタイガー養殖業改善協力金とは

上記の「エビ養殖業改善プロジェクト」に対して、ブラックタイガーを使用したCO・OP商品の購入を通じて寄付をする取り組みが、2019年3月よりスタートしました。

- 1 粗放養殖マークのついたブラックタイガー商品を購入。



粗放養殖マーク



- 2 「ブラックタイガー養殖業改善協力金」として寄付。



1品当たり3円寄付

- 3 寄付金は、以下のような活動に使われます。

- 生態系の回復・保全をめざしたマングローブの再生
- エビ生産者への持続可能なエビ養殖に関する研修
- 環境配慮型の養殖に必要な水質管理

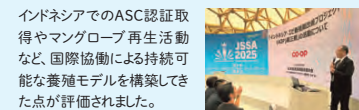


大きなご馳走えびフライ

2024年度 (2024年3月21日～2025年3月20日) 全国の生協での寄付金総額

519万1,596円

第6回「ジャパン・サステナブルシーフード・アワード」コラボレーション部門特別賞を受賞しました!



インドネシアでのASC認証取得やマングローブ再生活動など、国際協働による持続可能な養殖モデルを構築してきた点が評価されました。

ジャパン・サステナブルシーフード・アワードとは? 持続可能な水産物の推進やサステナブル・シーフードの普及に貢献する取り組みを表彰しています。当プロジェクトは、2019年の第1回アワードにおいても「コラボレーション部門・チャンピオン」を受賞しました。

海外 社会

CO・OP×レッドカップキャンペーン

飢餓に苦しむ子どもたちに給食を▶学校に行けば食べられる、学べる。



2014年10月よりスタートした取り組みです。飢餓に苦しむ子どもたちに学校給食を届けるため、国連機関の日本における民間窓口である国連WFP協会を通じて寄付をするキャンペーンです。3年ごとに支援国の見直しをしていますが、2026年も引き続きミャンマー連邦共和国での活動を支援します。

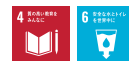
国連WFPとは

国連WFPは飢餓のない世界をめざして活動する国連唯一の食料支援機関です。世界120以上の国と地域で活動し、トラック・船・飛行機など、あらゆる手段を使って食料を届けています。

海外 社会

コアノンスマイルスクールプロジェクト

アンゴラの学校づくりを支援する▶楽しく学べる環境づくりに役立ちます。



2010年11月よりスタートした取り組みです。「CO・OPコアノンロール」シリーズを1パックご購入いただくごとに1円がユニセフを通じてアンゴラのアンゴラ共和国(以下アンゴラ)の子どもたちに寄付されます。

【第16期キャンペーン期間】
2025年11月1日～2026年10月31日(通年)

第15期全国の生協での寄付金総額
1,717万3,080円 ※日本生協連補填含む

アンゴラの子どもの状況

- 5歳未満児の死亡率は…出生1,000人あたり64人
- 慢性的な栄養不良に苦しんでいる5歳未満児の割合は…子どもの48%
- 教育を受けていない5人に1人の子ども



出典:世界子供白書2025

Republic of Angola



ミャンマー連邦共和国ってどんな国

ミャンマーは世界で5番目に飢餓が懸念される国であり、1,330万人が深刻な食料不安に陥っています。紛争の影響で物資や現金の輸送が困難になっており、また食品市場価格が大幅に上昇し、主食のコメは4倍以上など、商品価格が高騰しています。

ミャンマーにおける学校給食支援

国連WFPパートナースタッフの声

学校給食支援が始まる前は、親に余裕がなく、学校に昼食を持ってこない子どももいました。彼らは食事をとることができず、調理や食習慣の知識もほとんどありませんでした。国連WFPによる学校給食支援が開始してから、子どもたちは栄養素や食品群についてよく理解できています。給食は清潔で新鮮で温かく、子どもたちは健康に成長し、体重も増えています。また、食事の前に手を洗う習慣も身につき、定期的に授業に出席するようになりました。

2023年の学校給食支援
▶9つの州・25万人(2,200校)学校に通えるようになった生徒:87%
▶そのうち学校を卒業した生徒:95%



学校給食支援のできるこ

- 給食が食べられることで栄養が改善され就学率のアップにつながる
- 出席率が高い子どもたちには持ち帰り食料を支給。女子児童の就学率アップにつながる
- 学校給食の材料を地元の農家から調達することで農家への経営支援につながる
- 学力を身につけた子どもたちは、さまざまな未来を切り開いていく

2025年に11年目を迎えました!

2026年も引き続き子どもたちの「食べられる、学べる」を応援します。



第1期 (2014年～2016年) ガーナ共和国



第2期 (2017年～2019年) カンボジア王国



第3期 (2020年～) ミャンマー連邦共和国

学校給食1食は約30円で提供できます。これまでの支援で、およそ**163万食分**を提供してきました。



対象商品の一例
コープヌードル しょうゆ

【2026年度キャンペーン期間】

2026年10月1日～11月10日(期間限定)

2025年度 全国の生協での寄付金総額

348万113円

取り組み内容

- 1 キャンペーン期間中対象商品をお買い求めください
- 2 1品につき1円を国連WFP協会に寄付
- 3 飢餓に苦しむミャンマーの子どもたちに学校給食を届けるために使われます

アンゴラ「子どもにやさしい学校」活動・進捗状況

※2025年12月時点・日本ユニセフ協会提供資料より抜粋

活動の進捗状況①

トイレ・手洗いの場の修繕・設置

これまでに4州38校に水と衛生の施設を提供!



1691の小学校に設置された手洗い場とムヤナゴンベ小学校に設置されたトイレ

活動の進捗状況②

教師の能力向上

これまでに4州2,092人の教師を研修!



生徒参加型の授業の様子

活動の進捗状況③

学校運営の強化と地域の参加

これまでに4州11市2,539人を研修!



校長先生や地域住民への啓発・研修の様子



子どもの学習環境を改善するために学校と協力しています。

学校改善計画の研修を受けた保護者委員会のマリアさん

学校施設の提供だけでなく、「なかみ」の支援も大切にしています。

対象商品の一例



やわらかコアノンロール シングル



やわらかコアノンロール ダブル

取り組み内容

- 1 CO-OPコアノンシリーズいずれかをお買い求めください
- 2 1パックにつき1円をユニセフを通じてアンゴラ共和国に寄付
- 3 支援できること



子どもたちが楽しく学べる環境づくり



教師の育成



安全な水の整備

国内人々

【ピンクリボン運動キャンペーン】

乳がんで悲しむ人をなくしたい ▶ 乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます。



日本生協連は、認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）の「ピンクリボン運動」に賛同し、2017年10月よりサポーターとなりました。キャンペーンを通して、J.POSHの推進する啓発や助成などの種々のプログラムを応援するものです。

[2026年度キャンペーン期間]
2026年9月1日~10月20日(期間限定)
*カタログ「くらしと生協」は通年予定。



対象商品の一例



コープ化粧品シリーズ全品



カタログ「くらしと生協」ブラジャー全種

取り組み内容

- 1 対象商品いずれかを買い求めください
- 2 1品につき1円をJ.POSHへ寄付
- 3 乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます

2025年度全国の生協での寄付金総額
コープ化粧品 **100万5,472円**
くらしと生協 **42万2,783円**

国内人々

【パラノルディックスキー応援キャンペーン】

困難を乗り越え挑戦する人々を応援したい▶「パラノルディックスキー」の育成チームをサポートします。



2017年9月よりスタートした取り組みです。対象商品を1点お買い上げいただくごとに1円が、公益財団法人日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチームの次世代を担う育成チームに寄付されます。



2024年度寄付金贈呈式

対象商品の一例



CO-OP
応援食 ココアクッキー+鉄分&たんぱく質(株)東ハト製造



次世代指定選手・鈴木剛選手

次世代指定選手・鈴木剛選手から

組員へメッセージ

「皆様の支援で海外遠征も経験させていただきました。まだまだ駆け出しとはいえパラリンピックをめざす選手の一員としてこれからも精進していきますので応援よろしくをお願いします。」

取り組み内容

- 1 対象商品いずれかを買い求めください
- 2 1品につき1円を日本障害者スキー連盟に寄付
- 3 寄付金は「パラノルディックスキー育成チーム」の活動資金として活用されます

[2026年度キャンペーン期間]
2026年3月21日~2027年3月20日(通年)
2024年度全国の生協での寄付金総額
46万6,292円

Ethical Voice

組員のエシカルな声



「誰かの笑顔につながるお買い物」
これからもコープは
エシカル消費への取り組みを
続けていきます。

トilet紙の紙芯をなくすことで、省エネ・省資源、紙量が多いので交換・買い物の手間が少なくて良いという、素晴らしい商品。たくさんの試行錯誤を繰り返して「組員さんの便利」を追求し続けている。ごみ削減・再生紙を原料だけでなくエシカル消費にもいち早く取り組んでいるのが素晴らしい。

カートンボックスを使用している工場が少ない中で、環境配慮と生協のためにさまざまな洗剤をつくっていただき、大変ありがたいです。

大変なご苦労の中、7代2代と引き継がれ持続可能な養殖の実現を行われ、マングローブを植林。一度なくした環境を取り戻すのは難しいですね。自然を再生し環境を良くして、生産が増えれば良いですね。うまくいように願っています。おいしくて品質の良いブラックタイガーを待っています。

普段手にしている商品を使うだけで少しの貢献になっているというのは嬉しいです。

自分の何気ない行動が「誰かの笑顔につながる」ことは、とても素敵だと思う。

できるだけ大切な資源をムダ使わずに、エシカル消費を増やし、より楽しくわかりにも伝えていきたい。

私たちの身の周りにおけるコープのエシカル

CO-OP商品のエシカル エシカル消費
生協のエシカル 生協の専業・活動のエシカル

地域

産地指定 P.12 産地指定

国産素材 P.12 国産素材

食品ロス削減 P.10 もったいないを活かす

地産地消 **産直**

産地	産品	産地	産品
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦



エシカルな商品を選ぶ

エシカルな暮らし方を選ぶ

責任ある調達

海や森を守る活動

MSC認証 **ASC-AQUA** **BAP** **CSI**



組合員

国際支援 **国際フェアトレード**

コープサステナブル

スマイルグリーンプロジェクト

リデュース・リユース・リサイクル・バイオマス・省エネ

FSC **Rspo** **Fairtrade**



被災地支援 **食育** **障がい者支援**

被災地支援 **食育** **障がい者支援**

パラノルディスクー応援キャンペーン

ピンクリボン運動キャンペーン

J.POSH 日本乳がんピンクリボン運動

くらしの助け合い活動 **見守り** **子育て支援**

くらしの助け合い活動 **見守り** **子育て支援**

くらしを考える取り組み

平和の取り組み **国際支援** **国際フェアトレード**

平和の取り組み **国際支援** **国際フェアトレード**

WFP 国連世界食糧計画

スマイルスクールプロジェクト

国際フェアトレード

人々

社会